

# 歴史書 通信

7

2020 No. 250



村落調査と江戸時代の村  
[山本 光正]

歴史書新刊ニュース  
(5・6月)

歴史書以外の人文社会図書  
新刊案内 (5・6月)

歴史書懇話会

# 村落調査と江戸時代の村

山本光正

(元国立歴史民俗博物館教授)

日本の近世史を研究しようとする、研究分野にもよるがある程度は江戸時代の村を知らなければならない。江戸時代の村数はおよそ6万3000ほど、当然のことながら様々な研究に村や農民が関わってくる。

私は大学の授業で近世農村史の講義を受講し、一応の知識を身につけたが、あくまでも頭の中でのことであり、特に農業のことなどまったくわからなかった。田畑にしても何町・何反などといってもどれ程の広さなのか。「一筆ってなに!」。東京下町の狭苦しいところに育った私にとって百畳敷きといえどもとんでもない広さである。

私の後輩に東京近県の専業農家出身の研究者がいるが、彼からはいろいろなことを教わった。なかでも衝撃的であったのは、米穀専業農家は現金収入のあるのは基本的に米を売却したときだけということであった。日銭の入るような仕事をしていた我が家とでは、おそらく金銭感覚は大きく異なっただろう。

さらに何も知らない私は彼に、「しかし広大な土地を所有しているんだ

な」というと、彼は「広大な農地よりも都内中心部に百坪でいいから土地が欲しい」。思わず納得した。

\* \* \* \* \*

私が農村そして江戸時代の村をある程度現実的に知ることができるようになったのは、農村部の古文書調査を通じてである。今でもそうであろうが、私の若い頃は農村部には未整理の古文書が大量に保管されていた。私は他大学の古文書調査に参加し調査方法を身につけ、その後自ら古文書調査グループを結成して農村部の古文書調査を行った。

古文書は土蔵の2階に保管されていることが多い。保管といっても長持や箆筒などに入っている。この長持や箆筒が問題で、古くて隙間だらけのものがほとんど。その時はまずこれを揺する。こうすると中にいる鼠などが逃げだすのである。最初の頃は蓋や抽斗を開けて鼠と鉢合わせして吃驚したことがある。揺するのはその時の経験からである。

土蔵も床が抜けていたり、屋根から雨漏りしているところもあり、古文書

整理の前段階もかなり大変である。何軒もの古文書調査を行っている、土蔵を見ただけでどの辺りに保管されているか見当がつく場合がある。ある旧家の蔵の入口で「あの辺りにありそうですね」というと、旧家の当主は「そうですが、ここに入ったことがありましたか」と言われたことがある。もちろん忍び込んだことはない。

近年というよりかなり以前から近世史専攻の学生が少なくなっているという。現任教員によると古文書を読むことに対する拒否反応という。古文書調査のことを話したら、「山本さん。あんな作業をさせたら大変ですよ。汚い！ 病気になる！ と言われて」。確かに。今のご時世では親が飛んでくるかもしれない。

現在教養講座で近世の古文書の読み方などを講義しているが、多少なりとも読めるようになるとある程度村のことを理解してもらわなくては次に進めない。そうかといって受講生に私が学生時代に読んだ農村史などの書籍を読ませるわけにもいかない。

そのような時に農村をテーマにした古文書テキストの執筆依頼がきた（のちに『六十の手習い 古文書を読む2 江戸の農村文書』として同成社より刊行）。引き受けはしたが、わかりやすくするために随分と悩んだ。その結果村に残る古文書を系統的にやさしく説明すればわかってもらえるのではないかということに思い到った。幸いこれまで村

の文書についてわかりやすく書いたものはあまりないようである。

\* \* \* \* \*

村に残る文書の中に時折村々の石高を記した石高帳を目にすることがある。近世の村の規模は土地の広狭ではなく米の収穫高＝石高であった。村の石高を村高ともいうが、村高に年貢が課せられた。年貢は個人ではなく村に掛けられたのである。このほか、たとえば人足を100石につき1人提出せよなどと負担が課せられたのである。

村そして村人にとって重要なことはいうまでもなく土地と年貢納入である。土地の基本的な台帳が「検地帳」で「水帳」とも呼ばれる。「検地帳」には一筆ごとに土地の面積や所有者が記載されている。「検地帳」は土地ごとの所有者が記載されているが、個人の所有地を一括して記した帳簿が「名寄帳」である。この土地台帳をもとに、村に掛けてきた年貢や諸負担が個人に割振られるわけである。

年貢は毎年送付されてくる「年貢割付状」に基づいて納入される。年貢を納入すると領主側から「年貢皆済目録」が発行され、年貢の納入が完結するわけである。年貢関係資料は重要な資料なので、大事に保管されその多くが今に伝えられている。しかし年貢の研究者ではない私にとって、数字の羅列の資料は見ただけで眠くなる。

村の調査をしている時に期待している資料の一つが、村の概要を記した帳

簿である。現在の市町村要覧のようなものである。その代表的なものが「村明細帳」などと呼ばれるものであり、上からの指示により作成されている。いつごろから始まったのか定かではないが、貞享2年(1685)頃には作成されていたようである。

「村明細帳」とは別に「村鑑大概帳」がある。これは享保6年(1721)徳川吉宗が幕府代官所、大名預所ごとに作成を命じたものである。このほか、將軍代替わりごとに諸国に派遣される巡見使の質問に答えるために作成した簡単な村明細もある。その内容に精粗はあるものの調査の時これを見付け出すと嬉しくなる。

土地・年貢・村の概要。そして個人の掌握も重要である。そのために作成されたものが「人別帳」で、現在の戸籍台帳である。幕府は寛文11年(1671)人別帳を基に毎年宗門改帳の作成を命じた。人別帳と宗門改の複合である。享保11年(1726)以降は子・午の年ごとに実施するようになった。

人別帳は眺めているだけで面白い。特に下書き段階のものは変な勘繰りをしたくなる記載が多々ある。次男が新たに家督相続したが何かおかしい。父親と娘の年齢差がおかしい。等々週刊誌の記事を読むようである。趣味で古文書を読むのが大好きという人が多いが、とにかく真面目に読んでしまう。江戸時代のこうした文書は肩肘張って読むようなものではない。物事の起源に

こだわる研究者は多いが、江戸時代の人々はいちいち起源など気にしていない。現代社会の複雑で多様な制度の起源などを覚えている人はほとんどいないだろう。たとえば詳細は何かわからないが税金は間違いなく取られている。

村々には為政者から法令や様々な通達がある。通達事項が記された書類は名主のもとに届けられる。名主はこれを「御用留」に書写し通知文は次の村へ送られる。「御用留」には訴訟や嘆願に関する書類の写しも記されている。

江戸時代には実に多くの訴訟が展開した。訴訟を抱えていない村はなかったといつてよいほどである。そのお陰で江戸時代の具体的様相を知ることができるわけである。

江戸時代に関心がなくてもよく知られているのが五人組である。五人組の起源についても諸説あるようだがそれは置いておこう。

五人組は5軒ほどを1グループにし、五人組内に何かあったときは助け合い、時に連帯責任を科せられることもある。五人組に関する帳簿がいわゆる五人組帳で、「五人組御仕置帳」「御仕置五人組帳」などさまざまな表題が付けられる。前半には70余カ条の前書があり、そのあとに五人組の編成が記されている。

五人組帳は古文書調査をしていると時たま目にする。しかし近世を専攻していても五人組関係の研究をしていなければ五人組帳をきちんと読んだとい



う研究者は少ないだろう。

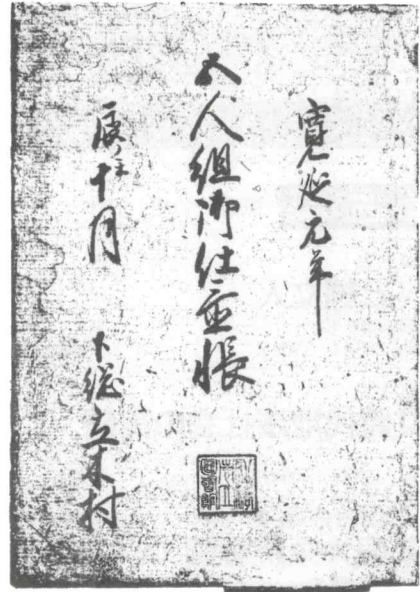
私もまともに全文を読んだことなどなかった。ところが先に述べた農村がテーマのテキストを出版するにあたり否応なしに全文読むことになった。読んで驚いた。基本法令から始まり、田畑の質入れ、年貢、夫役負担、農業用水等々細かに記されている。とりあえず村のことを知りたいというのであればこれで事足りる。

五人組帳の前書を見て講座の多くの生徒は、江戸時代の農民はこんなにも多くの規則などで縛られていたのですかというが、村人はこんな規則等をいつも頭に入れて生活しているわけでもなければ、五人組帳を勤勉に読んでいるわけでもない。そもそもこれまで述べてきた帳簿類が一家に1冊常備されていたわけでもない。

どのような規則を作ろうともどっこい農民は体をかかわして生き抜き、村を守ってきた。手玉に取られたのは為政者だったのだろう。

一転して現代をみてみよう。現代は法律に始まり様々な規則でがんじがらめである。もう体のかわしようはないのかもしれない。

〈表紙写真〉 橋有税：画『通寶志』（安永9年刊、個人蔵）より



「五人組御仕置帳」（寛延元年[1748]、下総立木村、船橋市西図書館所蔵）

# 新刊ニュース

5・6月の新刊 \*発売予定のものもあります

## 考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

中山誠二著

### マメと縄文人

(ものが語る歴史 40)

A 5判 208頁 3,700円

同成社 [6月刊]

日本の作物栽培は弥生時代以降と考えられてきたが、縄文時代にマメが栽培されていたことが明らかに。植物考古学の最新成果を紹介。

978-4-88621-844-5

山本直人著

### 縄文時代地域社会の実態

A 5判 250頁 5,000円

同成社 [6月刊]

能登地方での考古学的調査結果をもとにアメリカ北西部の民族調査の結果もふまえて縄文後晩期の地域社会の実態に迫る。

978-4-88621-845-2

奈良文化財研究所編集・発行／吉川弘文館発売

### 名勝 旧大乘院庭園 (全2冊セット)

本文編／図版・資料編

A 4判 868頁 32,000円

吉川弘文館 [6月刊]

発掘調査により文献で知られた幻の日本庭園の全貌と歴史を解明。中近世史、庭園史、建築史、考古学、寺院史研究に必備の報告書。

978-4-642-09358-3

中尾芳治編

### 難波宮と古代都城

B 5判 882頁 22,000円

同成社 [6月刊]

古代都城研究を牽引してきた編者が難波宮跡の調査を開始して60年。深化する研究の現状を考古・古代史の精鋭75人が総括した大作。

978-4-88621-842-1

山の考古学研究会編

### 山岳信仰と考古学Ⅲ

A 5判 374頁 9,000円

同成社 [6月刊]

山岳信仰を中心テーマに、故菅谷文則元権原考古学研究所所長ゆかりの研究者が編んだ追悼論文集。氏の絶筆を含む21篇を収録する。

978-4-88621-846-9

富士山考古学研究会編

### 富士山噴火の考古学

火山と人類の共生史

A 5判 352頁 4,500円

吉川弘文館 [6月刊]

山梨・静岡・神奈川の縄文～近世のテフラ(火山灰)が堆積した噴火罹災遺跡を詳細に検証。富士山噴火と人類の共生を探る。

978-4-642-09357-6

## 日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

久保健一郎著

### 享徳の乱と戦国時代

(列島の戦国史 1)

四六判 278頁 2,500円

吉川弘文館 [5月刊]

15世紀後半、東日本の地域社会は戦国の世へ突入。室町幕府の東国対策などを描き、戦国時代の開幕を見とす。〈シリーズ刊行開始〉。

978-4-642-06848-2

長谷川博史著

### 大内氏の興亡と西日本社会

(列島の戦国史 3)

四六判 246頁 2,500円

吉川弘文館 [6月刊]

大内氏と大友・尼子氏らとの戦いや毛利氏の台頭などを描き出し、分裂から統合へ向かう西日本を周辺海域の中に位置づける。

978-4-642-06850-5

関根 淳著

**六国史以前**

日本書紀への道のり (歴史文化ライブラリー 502)

四六判 284頁 1,800円

吉川弘文館 [6月刊]

古代には、<sup>レ</sup>記紀。以外にも、天皇記・国記など多くの史書が存在した。これらの実態に迫り、古事記を一つの史書として位置づけなおす。

978-4-642-05902-2

清水寺史編纂委員会編

**清水寺 成就院日記**

A 5判 416頁 9,000円

法藏館 [6月刊]

清水寺門前町の行政記録、第五巻。同巻では延享四年七月～寛延元年九月と『慈心院日記』を収録。

978-4-8318-5155-0

磯部淳一著

**東国の中世石塔**

B 5判 900頁 25,000円

吉川弘文館 [6月刊]

千基以上の石塔を集録。形態や分布から各地域の特徴を解明し、全容に迫る。資料として、種類別、成立年代順の東国石塔一覧を付す。

978-4-642-09356-9

井上尚明・田中広明編

**飛鳥時代の東国**

(古代東国の考古学6)

A 5判 270頁 5,700円

高志書院 [6月刊]

国造から国府・郡家へと移りかわる評家の建設が東国の各地でどのように進んだのか？ 東国の社会変容を考古学の視点で具体的に描き出す。

978-4-86215-209-1

三舟隆之著

**古代氏族と地方寺院**

(古代史選書 35)

A 5判 386頁 8,000円

同成社 [6月刊]

郡評制が施行された大化改新前後、地方豪族層一國造氏族一が推進した仏教寺院造営の目的と意義について、在地側の視点から解明する。

978-4-88621-843-8

小口雅史編

**古代東アジア史料論**

(古代史選書 34)

A 5判 410頁 8,000円

同成社 [6月刊]

日本の古代史料を中心に、漢字文化圏諸国のさまざまな史資料も取り上げ、そこから読み取れる情報の取り扱いや解釈などを考察した論文集。

978-4-88621-833-9

佐藤 信監修／新古代史の会編

**テーマで学ぶ日本古代史 政治・外交編**

A 5判 232頁 1,900円

吉川弘文館 [5月刊]

古代史研究の魅力を伝える概説書。律令や遣唐使など政治や外交に関わる主要テーマを研究の蓄積や最新の成果にふれつつ平易に解説。

978-4-642-08384-3

佐藤 信監修／新古代史の会編

**テーマで学ぶ日本古代史 社会・史料編**

A 5判 270頁 1,900円

吉川弘文館 [5月刊]

古代史研究の魅力を伝える概説書。戸籍や土地制度、交通史や災害史、女性史について現時点の研究の蓄積や到達点を平易に解説。

978-4-642-08385-0

山田康弘編／日本史史料研究会監修

**戦国期足利将軍研究の最前線**

B 6変型 256頁 1,800円

山川出版社 [5月刊]

応仁の乱以降、足利将軍家は没落したのか？ 信長の登場で室町幕府は終わったのか？ 9代義尚から15代義昭まで詳しく解説する。

978-4-634-15174-1

黒嶋 敏著

**天下人と二人の将軍**

信長と足利義輝・義昭 (中世から近世へ)

四六判 256頁 1,800円

平凡社 [5月刊]

室町幕府滅亡までの約20年、その実態はいかなるものだったのか。将軍義輝期の政治を押さえつつ、信長一義昭の政治史を読み解く。

978-4-582-47748-1

深谷幸治著

**中近世の地域と村落・寺社**

A 5判 352頁 10,000円

吉川弘文館 [5月刊]

地域寺社が宗教面だけでなく、領主と村落の仲介や隣村との争論に影響力を行使した実態に迫る。近世へ続く村落の体制をも解明する。

978-4-642-02963-6

草野顯之編

## 本願寺教団と中近世社会

A 5判 298頁 3,500円

法藏館 [6月刊]

978-4-8318-7728-4

大桑 斉編著

## 本願寺教如教団形成史論

A 5判 379頁 7,000円

法藏館 [6月刊]

978-4-8318-6258-7

市村高男編

## 中世石造物の成立と展開

A 5判 430頁 10,000円

高志書院 [5月刊]

978-4-86215-206-0

狭川真一編

## 中世墓の終焉と石造物

A 5判 220頁 5,000円

高志書院 [6月刊]

978-4-86215-208-4

大庭康時・佐伯弘次・坪根伸也編

## 神仏と祈りの情景

(九州の中世4)

A 5判 200頁 2,500円

高志書院 [5月刊]

シリーズ「九州の中世 全4巻」の4巻は、九州人の心のありようを映し出す信仰の世界に分け入り、列島の中でも九州にしかない独自の精神世界に迫る。

978-4-86215-207-7

兼平賢治著

## 近世武家社会の形成と展開

A 5判 384頁 9,500円

吉川弘文館 [5月刊]

978-4-642-03499-9

斉藤 司著

## 江戸周辺と代官支配

小泉次大夫の事績と顕彰(近世史研究叢書 53)

A 5判 300頁 6,800円

岩田書院 [5月刊]

2019年に急逝した著者が刊行を準備していた著書。江戸西南近郊の用水開削など、代官の系譜と事績。

978-4-86602-096-9

加賀藩研究ネットワーク編

## 加賀藩政治史研究と史料

A 5判 352頁 7,500円

岩田書院 [5月刊]

978-4-86602-095-2

川勝守生著／川勝守解題

## 近世日本石灰史料研究 13

A 5判 338頁 7,600円

岩田書院 [5月刊]

978-4-86602-099-0

長谷川匡俊著

## 近世浄土宗・時宗檀林史の研究

A 5判 522頁 11,000円

法藏館 [5月刊]

978-4-8318-7734-5

吉田伸之・森下徹編

## 全体史へ〈山口啓二の仕事〉

(読み解く学ぶ 日本近世史)

A 5判 196頁 2,000円

山川出版社 [5月刊]

古典となる二つの論文を読み解き、歴史資料への向き合い方、民衆の視座から近世の全体史を見通す研究法を学び、いま取り組むべき新たな課題を模索する。

978-4-634-59304-6



坂口弘之著

## 古浄瑠璃・説経研究

近世初期芸能事情（上巻 街道の語り物）

A 5判 532頁 12,000円

和泉書院 [6月刊]

978-4-7576-0956-3

街道論という斬新な方法論が、高野や四天王寺伝承、更には築島、蟬丸伝承などを鮮やかに解きほぐし、学界論議の根底を刺激する。

坂口弘之著

## 古浄瑠璃・説経研究

近世初期芸能事情（下巻 近世都市芝居事情）

A 5判 600頁 13,000円

和泉書院 [6月刊]

978-4-7576-0957-0

東西興行界の交流動向、それに牽引される義太夫や近松らの境涯、更にその作品定位や正本刊行事情をめぐり、通説の更新に迫る。

三浦正幸監修／來本雅之編著

## 古写真で見る幕末の城

B 5判 272頁 1,800円

山川出版社 [5月刊]

978-4-634-15167-3

掲載城郭145城を、約850点の古写真で紹介。海外美術館や国内史料館などの研究室から多くの未公開写真を掲載。各城ごとに絵図でわかるように解説。

藤田 覚著

## 日本の開国と多摩

生糸・農兵・武州一揆（歴史文化ライブラリー503）

四六判 240頁 1,700円

吉川弘文館 [6月刊]

978-4-642-05903-9

生糸生産発展の一方で生じた経済格差、農兵が鎮圧した武州一揆などの要因・実態を探る。未曾有の大変革に生きた多摩の営みを描く。

大庭裕介著

## 司法省と近代国家の形成

A 5判 258頁 5,500円

同成社 [6月刊]

978-4-88621-839-1

明治初期から中期の近代国家形成期において、司法省が基幹事業である法典編纂と司法行政をめぐる権限をいかに確立したのか解明する。

野添文彬著

## 沖縄米軍基地全史

（歴史文化ライブラリー501）

四六判 238頁 1,700円

吉川弘文館 [5月刊]

978-4-642-05901-5

沖縄戦から現在に至る通史を描き、米国・日本・沖縄社会が基地をいかに位置付けてきたのかを検討。課題を多く残す問題の淵源に迫る。

吉原康和著

## 令和の「代替わり」

変わる皇室、変わるぬ伝統

四六判 224+口絵8頁 1,800円

山川出版社 [5月刊]

978-4-634-15166-6

江戸時代以降、二百年ぶりに行われた譲位による今回の「代替わり」。記者として関連の「儀式」「公務」取材したドキュメント作品。

菅野成寛監修・編

## 平泉の仏教史

歴史・仏教・建築（平泉の文化史2）

B 5判 206頁 2,600円

吉川弘文館 [6月刊]

978-4-642-06846-8

『中尊寺供養願文』や金銀字一切経などに着目。平泉前史の国見山廃寺の性格から鎌倉期の中尊寺史まで、平泉仏教文化の実像に迫る。

## 世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

「世界すご！ペディア」編集委員会編

## 世界すご！ペディア

197の国+46の地域を楽しく知る事典

B 5判 272頁 1,800円

山川出版社 [5月刊]

978-4-634-15165-9

世界の国や地域の歴史、地理、国旗、特徴を楽しく学ぶ事典。ふりがな付きのオールカラーで親子学習や児童の自由研究などにも最適。

金澤周作監修

## 論点・西洋史学

B 5判 340頁 3,200円

ミネルヴァ書房 [4月刊]

978-4623-08779-2

139の論点を最新の研究動向に照らし、史実とともにコンパクトに解説した学生・関連領域研究者必携の一冊。

大江一道・山崎利男著

## 物語 世界史への旅

(YAMAKAWA SELECTION)

B6変型 384頁 1,300円

山川出版社 [5月刊]

1981年刊行『物語 世界史への旅』を山川セレクションとしてリニューアル。現代の世界を見渡すうえで基本認識の助けとなる24のテーマを厳選掲載。 978-4-634-42387-9

曾士才、王維編著

## 日本華僑社会の歴史と文化

(中国社会研究叢書)

四六判 376頁 2,000円

明石書店 [4月刊]

地域社会に根付いた華僑文化の形成過程や地元住民との関係も視野に入れ、その歴史と文化を論考する。 978-4-7503-5011-0

一般社団法人 中国研究所（編・発行）

## 中国年鑑 2020

B5判 528頁 18,000円

明石書店 [5月刊]

中国の最新情報を網羅する、日本で初、かつ唯一の中国一国の年鑑。2020年度の特集は、「中国建国70年の光と陰」。 978-4-7503-5023-3

ジャン=クロード・ベルフィオール著/金光仁三郎主幹/小井戸光彦・本田貴久・大木勲・内藤真奈訳

## ラルース ギリシア・ローマ神話大事典

B5判 1082頁 22,000円

大修館書店 [6月刊]

ギリシア・ローマ神話の全貌を網羅した最新・最大の事典。項目数約2500。文芸作品からの引用と豊富な図版で神々や英雄たちを活写する。 978-4-469-01289-7

公益社団法人 日本ネパール協会編

## 現代ネパールを知るための60章

(エリア・スタディーズ)

四六判 380頁 2,000円

明石書店 [5月刊]

ネパール近現代史における政治的大変革期を経た社会と、人々の意識や生活を記録した、現在のネパール理解に欠かせない一冊。 978-4-7503-5015-8

中野隆生、加藤 玄編著

## フランスの歴史を知るための50章

(エリア・スタディーズ)

四六判 388頁 2,000円

明石書店 [5月刊]

政治史を中心に社会、経済、宗教、文化などの様々なテーマを絡めながら各時代を立体的に描き出す、ひと味違った歴史案内。 978-4-7503-5021-9

北村暁夫・田中ひかる編

## 近代ヨーロッパと人の移動

A5判 224頁 5,000円

山川出版社 [5月刊]

近代ヨーロッパにおける移民・難民など人の移動についてその動機、移動先、手段、生活など多面的に企画検討した論集。 978-4-634-67251-2

## 文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教／  
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

加藤智見著

## 新装版 内村鑑三と清沢満之

四六判 278頁 1,900円

法蔵館 [5月刊]

「信仰」はいかにして得られるのか？積極的・自覚的に自らの信仰を選択した2人の近代人の思索を通じて、宗教の近代化を考察する。 978-4-8318-6571-7

中野目 徹編

## 官僚制の思想史

近現代日本社会の断面

A5判 334頁 4,500円

吉川弘文館 [5月刊]

官僚制の職務に従事する官吏の意識や専門知、官界内外で議論された彼らの行動規範を追究。官僚制の思想的側面に迫った注目の一書。 978-4-642-03893-5

村上重良著

## 日本の宗教

日本史・倫理社会の理解に（読みなおす日本史）

四六判 198頁 2,200円

吉川弘文館 [5月刊]

原始信仰から仏教、神社神道、キリスト教、近代の新宗教まで、個々の宗教の成り立ちと教えを解説。歴史の歩みと現在の状況を考える。 978-4-642-07117-8

湯浅治久著

## 戦国仏教

中世社会と日蓮宗（読みなおす日本史）

四六判 240頁 2,200円

吉川弘文館 [6月刊]

978-4-642-07118-5

戦乱や災害、飢饉などに対して寺院・僧侶はどのような役割を担ったのか。民衆や領主がいかに仏教を受け入れたのかを明らかにする。

橋本循記念会編

## 王漁洋

（橋本循著作集 第三巻）

A5判 528頁 5,000円

法藏館 [5月刊]

978-4-8318-3733-2

清代初期に活躍した詩人、王漁洋の作品群に詳細な訳註を付す。大陸各地を歴遊し多くの情景詩を遺した王漁洋の世界を堪能できる一冊。

下谷政弘監修

## 住友近代史の研究

A5判 292頁 4,000円

ミネルヴァ書房 [5月刊]

978-4623-08853-9

礎を築き始めた別子鉱山経営をはじめ、その後の事業、組織の特徴と独自性を、三井、三菱とも比較しつつ辿る。

入江英弥著

## オトタチバナヒメ伝承

A5判 404頁 8,400円

岩田書院 [6月刊]

978-4-86602-101-0

東京湾沿岸部を中心にみられるオトタチバナヒメ伝説を、古事記・風土記などに記される弟橘媛入水譚との両面から考察し、その全体像を把握する。

## 伝記

神田千里著

## 顕如

仏法再興の志を励まれ候べく候（ミネルヴァ日本評伝選）

四六判 304頁 3,500円

ミネルヴァ書房 [5月刊]

978-4623-08989-5

戦乱の時代に教団存続のため門徒を率いて織田信長らと対峙した宗教者の生きざまを描く。

## 雑誌

### 日本歴史

日本歴史学会編集

6月号（第865）＝5月刊

7月号（第866）＝6月刊

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料 8,600円〔税・送料込〕

#### ◆各種割引制度有

二年間前払い 16,400円〔税・送料込〕

三年間前払い 24,000円〔税・送料込〕

学生・院生 一年間 5,000円〔税・送料込〕

A5判 6月号＝130頁、7月号＝130頁

6月号＝745円、7月号＝745円

吉川弘文館 [5・6月刊]

# 歴史書以外の 人文社会図書新刊案内

2020. 5・6

## 明石書店

- サイバーハラスメント 現実へと溢れ出すヘイトクライム  
ダニエル・キーツ・シトロソ著……………四六判 4,500円 4月
- 10代からの批判的思考 社会を変える9つのヒント 名嶋義直著……………A5判 2,300円 4月
- 介護人類学事始め 林 美枝子著……………四六判 2,700円 4月
- 子どもへの体罰を根絶するために 臨床家・実務者のためのガイドンス  
エリザベス・T・ガースホフ、シャウナ・J・リー編著……………A5判 2,700円 4月
- 発達とレジリエンス 暮らしに宿る魔法の力 アン・マステン著……………A5判 3,600円 4月

## 法蔵館

- 源信撰『阿弥陀経略記』の訳註研究 龍谷大学仏教文化研究叢書 39  
村上明也・吉田慈順編……………A5判 7,500円 3月
- 華嚴経入法界品梵藏漢对照索引 長谷岡一也著……………B5判 62,000円 3月
- 折口信夫の戦後天皇論 法蔵館文庫 中村生雄・三浦佑之解説……………文庫判 1,300円 5月
- 禅仏教とは何か 法蔵館文庫 秋月龍珉・竹村牧男解説……………文庫判 1,100円 5月
- なぜ人はカルトに惹かれるのか 脱会支援の現場から 瓜生 崇著……………四六判 1,600円 5月
- お迎への信仰 往生伝を読む 梯 信暁著……………四六判 1,600円 5月
- 『大乘莊嚴経論』第Ⅱ章の和訳と注解 大乘への帰依 能仁正顕編……………B5判 3,000円 5月

◆『歴史書通信』が次回から生まれ変わります！

◆これまで長らく現状の体裁でご愛顧いただいていた『歴史書通信』ですが、時代の移り変わりとともに社会の要請も変わり、次号以降、新たなる装いでみなさまにお届けすることとなりました。具体的な姿はまだ調整中ですが、形態は変われど今後も歴史書の新刊情報を変わず発信してまいりますので、引き続きご最員のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

◆そして月替わりの連続ミニフェア「歴史書懇話会・今月のオススメ」も引き続き次の6書店で開催されています（カッコ内はフェア開始の日付）。◇天童市TENDO八文字屋（2006年7月～）／◇新潟紀伊國屋書店新潟店（2007年8月～）◇松江市今井書店グループセンター店（2008年6月～）／◇大阪市喜久屋書店阿倍野店（2013年11月～）／◇出雲市今井書店出雲店（2014年7月～）／◇水戸市川又書店県庁店（2020年2月～）。会員各社が厳選した、旬な歴史書を展開しています。お近くの方はぜひ足をお運びください。

◆さて、1970年代。とりわけその後半に少年・少女期を過ごした人間にとって、その脳裡に深く刻み込まれている「8時だヨ！全員集合」という番組の持つ影響力は、ちょっとほかの世代には想像しがたいであろう超越的なものがありました。見たか見てないかでなく、見ているのは大前提で、今週のひげダンスはどうだったかとか、新曲（いま思うと視聴率50%近い番組で持ち歌を毎週披露できるって奇跡のような……）はどうだったかとか、登校時や休み時間に、そこかしこで話に花を咲かせていました。いまなら放送コードに引っかかりまくりの台詞や下品な表現が時に問題視されたりしましたが、毎週楽しみに視聴していたハナ垂れ小僧からしたら、それも込みで、とても常識的で正しくて退屈なことをお話しになる朝礼時の校長先生より、はるかに多くのことを学びました。その後の社会生活でも前者からの学びはあらゆる場面で有用で、危機的になればなるほどその実効性を発揮します。そして2020年3月29日、志村けんさんの訃報により、そんな花を咲かせたことのあるすべての人びとの胸に冷たい鉛が押し込まれ、重く暗い空気が世間を覆いました。新型コロナウイルスへの社会的な意識が、あの日を境に大きく変化したのは周知のとおりです。公立の小中学校などはすでに休校でしたし、リモートワークを取り入れる会社も増えてはいましたが、もっとなんて言いますか、個々人の目つきに「これマジでヤバイ」スイッチが入った瞬間だったのではないのでしょうか。緊急事態宣言の発令が4月7日。その早い遅いも議論のあるところでしょうが、このまちがいなく後世の世界史年表に載る未曾有の歴史的事件を前に、この訃報は結果的に多くの人びとにその危機を伝え、意識を転換させました。そういう意味では、志村さんは終生、じつは伝導的な人生を送られた方だったのかな、とも思うこの頃です。まだまだ先の見えぬ状況ですが、その学びを無駄にすることなく、チョーさんのマジギレにボケで返す心の余裕と、そして笑顔を忘れずにいたいものです。（RK）



# イギリス史 上・下巻

川北 稔編

EU離脱(ブレグジット)で国論を二分する混乱を味わったイギリスの保守性と先進性のあいだで揺れる歴史をたどる。下巻ではEU離脱の動向を詳細に記述。

●上巻 2962頁 本体1200円 ●下巻 3552頁 本体1300円

B6変型判 384頁  
本体1300円

# 物語 世界史への旅

大江 一道 著  
山崎利男 著

1981年の刊行以来、何度も刷を重ねたロングセラーをリニューアル。「物語」で臨場感豊かに歴史が浮かび上がる。

世界史リブレット人 88

# ムツソリーニ

— 帝国を夢みた政治家

高橋進著 世界ではじめてファシズム運動を創設したムツソリーニ革命派の社会党員からファシストに転じた彼は、何をめざしたのか。その行動と思想、生涯に焦点を当て、イタリア・ファシズムを描き出す。

A5変型判 120頁 本体800円

# 世界すごい！ペデディア

— 197の国+46の地域を楽しく知る事典

「世界すごい！ペデディア」編集委員会編  
どんなに小さな国や地域にも、ナンバールンやオニールンがある！世界中のすごい話「すーペデディア」で、197カ国+46地域を楽しく学べる。全ての国旗(域旗)の解説つきで、地理も歴史もわかる。

B5判 272頁 本体1800円

読む解く学ぶ 日本近世史

# 全体史へ

A5判 196頁  
本体2000円

# 《山口啓二の仕事》

吉田伸之 編  
森下 徹

戦後の日本近世史研究をリードした山口啓二の仕事から、古典となる二つの論文を精緻に読み解き、歴史資料への向き合い方、民衆の視点から近世の全体史をみとおす研究方法を学び、いま、取り組むべき新たな課題を模索する。

# 偽書が揺るがせた日本史

原田 実著 教科書にも載せられ、私たちの「常識」の一部を形作ってきた書物・文書のなかにも「偽書」と判明したものもある。なぜ、偽書は横行し続けるのか？30のテーマで偽書と日本史の関係を解き明かす。

四六判 272頁 本体1800円

# 令和の「代替わり」変わる皇室

吉原康和著 令和の「代替わり」は、これまでの皇位継承とどこが違うのか、何が変わらぬまま温存されたのかを考える。4年にとびが激動の日々取材した記者による歴史的時間を追ったドキュメント。

四六判 224頁+口絵8頁 本体1800円

# ペストの歴史

宮崎揚弘著

かつて「黒死病」の名で恐れられ、ヨーロッパ社会に大きな影響を与えたペストの歴史を概観し、疫病大流行の恐怖とその克服の試みを明らかにする。今も続くパンデミックの脅威に対応してきた「人間の知恵」を考える書。

四六判 240頁 本体2000円



山川出版社

東京都千代田区神田 1-13-13  
電話 03-3293-8131 <https://www.yamakawa.co.jp/>

[価格は税別]

ユネスコの世界文化遺産に登録された、平泉の魅力に迫る！

# 平泉の文化史

全3巻

菅野成寛監修 各2,000円(内容案内送呈)

## ② 平泉の仏教史 歴史・仏教・建築

菅野成寛編 「中尊寺供養願文や金銀字一切経などに着目。平泉前史の国見山院寺の性格から鎌倉期の中尊寺史まで、平泉仏教文化の実像に迫る。

① 平泉を掘る 寺院庭園・柳の御所平泉遺跡群——及川 司編  
③ 中尊寺の仏教美術 彫刻・絵画・工芸——淺井和香・長岡龍作編  
(続刊)

## 六国史以前

日本書紀への道のり

関根 淳著 古代には、記紀以外にも、天皇記・国記など多くの史書が存在した。これらの実態に迫り、古事記の一つの史書として位置づけなおす。  
(歴史文化ライブラリー叢) 1,800円

## 日本の開国と多摩

生糸・農兵・武州一揆

藤田 覚著 生糸生産発展の一方で生じた経済格差、農兵が鎮圧した武州一揆などの要因・実態を探る。未曾有の大変革に生きた多摩の営みを描く。  
(歴史文化ライブラリー叢) 1,700円

## 戦国仏教

中世社会と日蓮宗

湯淺治久著 戦乱や災害、飢饉などに対して寺院、僧侶はどのような役割を担ったのか。民衆や領主がいかに仏教を受け入れたのかを、在地に残る具体的な事例から明らかにする。(読みなおす日本史) 2,200円

# 列島の戦国史

全9巻

## ③ 大内氏の興亡と西日本社会

長谷川博史著 大内氏と大友・尼子氏らとの戦いや毛利氏の台頭などを描き出し、分裂から統合へ向かう西日本を周辺海域の中に位置づける。2,500円

## 東国の中世石塔

磯部淳一著 2,500円

東北から関東甲信越・静岡まで、千基以上の石塔を集録。形態や分布から各地域の特徴を解明し、全容に迫る。中世史への新たな提言。

## 富士山噴火の考古学

火山と人類の共生史

富士山考古学研究会編 降り積もった火山灰は何を語るのか？ 歴史・考古学 火山学から未来への提言。4,500円

## 名勝旧大乗院庭園

奈良文化財研究所編 発行(吉川弘文館発売) まほろしの南都の園をさぐる待望の発掘調査報告書！ 考古学・庭園学・建築史・美術史・文献史から迫る総合的な研究成果。3,200,000円

## 仁和寺史料

古文書編 一 奈良文化財研究所編 1,200,000円

## 享徳の乱と戦国時代

久保健一郎著 関東の乱「戦国領主」の成長！ 戦国時代はいっ幕を開けるのか？ 2,500円

天下は戦国！一六〇年間の日本列島を見渡し、(企画編集委員) 激動する戦国社会の全貌を克明に描く！ 池 享・久保健一郎

- 続刊
- ② 応仁・文明の乱と明応の政変 大政 海著
  - ④ 室町幕府分裂と畿内近国の胎動 天野忠幸著
  - ⑤ 東日本の動乱と戦国大名の発展 丸島和洋著
  - ⑥ 毛利領国の拡大と尼子・大友氏 池 享著
  - ⑦ 東日本の統合と織豊政権 竹井英文著
  - ⑧ 織田政権の登場と戦国社会 平井上穂著
  - ⑨ 天下人の誕生と戦国の終焉 光成準治著

# 吉川弘文館

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-8 電話 03-3813-9151 <代表>

2019-2020年『出版図書目録』送呈 FAX 03-3812-3544 (価格は税別です)

# 歴史書懇話会

## ▶ 会員社名簿 ◀

### 明石書店

101-0021 千代田区外神田 6-9-5 〈担当者：川西花苗〉  
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1174

### 同成社

102-0072 千代田区飯田橋 4-4-8 〈担当者：佐藤涼子〉  
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466

### 塙書房

113-0033 文京区本郷 6-8-16 〈担当者：関口守俊〉  
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617

### 法藏館

600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 〈担当者：秋月俊也〉  
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458

### ミネルヴァ書房

[本社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1  
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589  
[東京支社] 101-0062 千代田区神田駿河台 3-6-1 菱和ビルディング 2F  
TEL.03-3525-8460 FAX.03-3525-8461 〈担当者：青柳英孝〉

### 山川出版社

101-0047 千代田区内神田 1-13-13 〈担当者：田村 裕〉  
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994

### 吉川弘文館

113-0033 文京区本郷 7-2-8 〈担当者：春山晃宏〉  
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2020年7月1日発行・第250号

発行 **歴史書懇話会**

113-0033 文京区本郷 7-2-8 吉川弘文館内  
(非売品)

取扱店

## 法藏館書店

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL.075-343-0458 FAX.075-311-0458